

冬－9 漢字の話

*このユニットは、学習者を、漢字圏、非漢字圏のグループに分けて行ってください。学習者の自己申告でかまいません。

漢は、漢字圏のグループのみ行う活動です。**漢**を表示の上、**活動1・4**についてはゴシック体で示してあります。

1. 活動の目的

- ①表意文字としての漢字について知り、楽しむ。
- ②ひらがな・カタカナと漢字のつながりを知る。
- ③自分の住所が漢字で書けるようになる。

2. 準備するもの (☆は教材ファイルにあるもの)

☆絵からできた漢字

☆今年の漢字 (ボランティア用)

3. 活動の手順 **留**: 留意点 **参**: 参考 **発**: 発展的活動

活動1

- ・漢字と、元の絵とのつながりを理解してもらう。
- ・それぞれの漢字の読み方を教える。

漢 複数の読み方がある漢字は、言葉の例と共に、それも教える。

活動2

絵からできた漢字

- ・漢字と漢字の組み合わせでできた言葉の意味を考える。

留 「花」はここまでの活動で出てこないの、資料「☆絵からできた漢字」を見て意味を理解してもらう。

参 「草」が「化」変化して花が咲く、の絵

活動3

- ・漢字と漢字の組み合わせでできた漢字の意味を考える。

活動4

- ・自分の住所を漢字で書いてみる。ボランティアは手助けする。住所を明かしたくない学習者には、番地を書かなくてもいいと伝える。または、SIFA の住所を枠の中に書いてもらう。(吹田市津雲台1-2-1-6F)

留 住所を書く順は 都道府県→市町村→()→番地

留 書き順や細かい形などに固執しすぎないこと。

漢 できるだけ正しい形で丁寧に書くように言う。

- ・ここでは、南千里の周辺について、地名から、坂(高台)が多い、昔竹林だった、桃がたくさん作られていた、ことなどが想像できて、話し合えればよい。

漢 「南」千里 →東西南北、「千」里山 →漢数字 を確認してもよい。

活動5

- ・右と左の項目を線でつなぐ。ひらがなやカタカナは、漢字が中国から日本へ来た後に作られた文字であることに気づかせ、漢字との共通点などを見つけてもらう。

活動6

漢のみ

今年の漢字

参 カタカナは漢字の「部分」から作られ、ひらがなは漢字「全体」を書きくずしたもののから作られた。

漢 「今年の漢字」について知っているかどうか聞く。知らなければ簡単に説明する。知っている学習者に説明させてもよい。

参 日本漢字能力検定協会が全国から公募して一番票が多かった漢字が「今年の漢字」となる。11月1日ごろから一般公募が始まり、同年12月12日前後に清水寺で発表される。

参 中国、台湾、シンガポール、マレーシアなどにも、その年の漢字を選ぶ催しがある。

- ・2014年の漢字「税」について話し合う。読み方と意味を確認してから、どうして選ばれたか、どんな年だったのか、考えて話してもらう。ボランティアはその年の主な出来事を必要に応じて情報提供する。

発 これまでの「今年の漢字」からわかりやすいものを選んで、同様に話し合ってみる。「震」「金」などがわかりやすい。

留 難しいものは選ばないようにする。説明に終始せず学習者に話してもらうようにする。正解はないので自由に話してもらうようにする。

- ・「私の漢字」お題で漢字を選んでもらう。発表し、理由を説明してもらう。日本の漢字から選ぶ。

活動7

漢のみ

(テキストに記載なし)

漢 発 (時間があれば…)

- ・日本の漢字と自国の漢字で同じでないものを取り上げ、違いを理解し正しく書けるようにする。
- ・まず、学習者が違うと認識している漢字をあげてもらい、書いてもらってから訂正する。
- ・そのほかの違う漢字をボランティアの方からあげ、書いて訂正する。

(例) ※中国の簡体字

華/华 愛/爱 強/强 変化/变化 車/车 東/东 鳥/鸟 馬/马 広/广 楽/乐 遅/迟 運動/运动 劉/刘 孫/孙 認識/认识 興/兴 個/个 場所/场所 電気/电气 書/书 漢/汉 遠/远 飲/饮 時間/时间 雑誌/杂志 飛/飞 髪/发 過/过 豊/丰 風/风 様/样 葉/叶 陽/阳 帰/归 術/术 頭/头 難/难 無/无 薬/药 機/机 産業/产业 権/权 売買/买卖 着/着 毎/毎